

No.205 イスラエル・ユダヤ・中東がわかる隔月刊雑誌 2026 4

みるこす

変容するイラン ● ダリア・アナビアン



つらゆき、エルサレムへ行く ● 池田裕



それでその町をバベルと呼んだ

(創世記 11:9)



ミルトスはイスラエルに育つ低木。常緑でその葉は芳香を放ち不死と成功の象徴とされた。(イザヤ 41:19)

■ 中東・イスラエル情報

■イスラエル並びにユダヤ人に関するノート■

イラン危機の最大リスクはトランプ大統領 —— 佐藤 優 6

■特別インタビュー■

変容するイラン —— ダリア・アナビアン 14

■日本の非常識からみた中東の非常識■

政治メッセージが込められた設問 —— 滝川義人 20

■イスラエル 多角多論■

イラン戦争——獅子の咆哮作戦 —— 齋藤真言 25

■知っておきたい中東・イスラム■

イラン現政権との戦い —— 光永光翼 39

● 聖書・歴史

●聖書の世界 エッセイ●

つらゆき、エルサレムへ行く —— 池田 裕 48

●サムエル記講話●

将軍ヨアブの登場 —— ラビ・ベニー・ラウ 56

●目からウロコの新約聖書●

使徒言行録の著者ルカ(中) —— 藤原豊樹 62

●ちょっと得する聖書のお話●

プリム祭のメッセージ —— 谷内意咲 68

▲ エッセイ

▲表紙によせて▲

それでその町をバベルと呼んだ —— マカベアリス 4

▲イスラエルから学んだこと▲

ニードセオリーとシードセオリー —— 田中猪夫 32

表紙：「それでその町の名をバベルと呼んだ」【刺しゅう・マカベアリス】

シネマレビュー 46

ブックレビュー 61

声のひろば 72

編集後記 74

表紙によせて

על כן קרא שמה בבל

それでその町の名をバベルと呼んだ

マカベアリス

皆さん本当によく喋る。地下鉄のホームで、車内で、カフェで、バルで、携帯片手に歩きながら——昨年の秋に、スペインのバルセロナを旅した時のことである。どこに行っても大きな声で、実に楽しそうに、時に熱を帯びて話している。

旅に出ると、国内でもそうだが海外の場合は特に、そこに住んでいる市井の人がどんな暮らしをしているかに一番興味がある。観光地よりも地元のお店街、土産物店よりもスーパーなどを見て歩くほうが楽しい。今回もサグラダファミリアは

後回しにして、まずは滞在したホテルの周辺を歩き回った。朝早くから開店しているベーカリーやスーパー、商店街の中にある手芸店、地元の人々がくつろぐ小さな公園など、それぞれに小さな発見があつて楽しい。

いろいろと巡りながら感じたのが「この土地の人々は実によく喋る」だった。スペイン語がわからない私には、当然ながらその内容が全く理解できない。ああ、少しでもわかったら、もっと生き生きと、より深くこの土地に親しめるのに……。

イラン危機の最大リスクは

トランプ大統領

佐藤 優



(撮影：森清)

ルールメーカー・アメリカ

Z君、国際社会のゲームのルールを抜本的に変える大事件が起きました。2月28日、アメリカとイスラエルがイランを先制攻撃しました。両国の狙いは、イランのイスラム革命体制を転覆することです。同日、イスラエルのネタニヤフ首相とトランプ米大統領は、イランの最高指導者ハメネイ師が今

回の攻撃で死亡したという見方を示しました。翌3月1日、イラン国営メディアも、死亡を報じました。外国の国家元首を殺害して、政権転覆を図るという前代未聞の出来事が起きました。

本件に関し、国際法違反であるという批判があります。

〈米軍によるイランへの攻撃について、トランプ米政権はイランの「差し迫った脅威」があったと主

張するが、法的根拠が乏しいとの批判が上がっている。トランプ大統領の国際法軽視の姿勢が鮮明になっている。〉

(3月1日「読売新聞」)

確かに既存の国際法に照らせば、外国元首を殺害し、政権転覆を図るとするのは、明白な主権侵害で違法行為です。しかし、今回の攻撃が国際法に合致しているか

▼特別インタビュー▲

変容するイラン

ダリア・アナビアン

【編集部より】イラン系イスラエル人で日本に長く住んでいたダリア・アナビアンさんに話を伺った。

▼幼少期の思い出▲

——ダリアさんは日本語、ペルシア語、英語、ヘブライ語を話されるそうですねですが、どういう背景ですか。

ダリア 私はイスラエル人の父ニサンとユダヤ系イラン人の母プーリーのもと、イランで生まれました。ペルシア語を話し始めた2歳の頃、イスラエルに来てヘブライ語を話すようになった。そしてまたイラン

に戻ったのですが、父親の仕事の関係で4歳のときに神戸にきました。そこでは日本語をすぐに覚えたので

すが、通い始めた学校がアメリカンスクールで英語が共通語でした。幼少期からいくつもの言葉に触れてきたので、どれが自分の母国語なのか今も分かりません(笑)。自分の中にイラン人、イスラエル人、関西人、アメリカ人と4分の1ずつアイデンティティがあるような感覚ですね。——今はイスラエルに住んでいるのですか。

ダリア はい。イスラエルにいた父

の容態が悪くなり、2年前に日本からこちらに来ました。もともと私の家族はテヘランにいました。母方の祖父ラヒムはそこでペルシアの古美術店を営んでいて、日本からもたくさんのお古美術関係者が来ていました。テルアビブからテヘランへ美術を学びに来た父は、ラヒムの店で日本にペルシア古美術のマーケットがあることを知り、日本の神戸に行きました。神戸には由緒あるシナゴグがあります。そのコミュニティーで人脈ができて、東京や大阪の百貨店で展示会を開くことができました。

日本の非常識からみた中東の非常識

政治メッセージが

込められた設問

——偏った知識に基づく“正解”

滝川義人

○ 灘中学校の入試問題

入試難関校として知られる灘中学校の今年度入試で、国語の問題にパレスチナ人の詩2つが出題された。

「次のA・Bは、二〇二三年からパレスチナで起きていることをきっかけに書かれた詩です。これを読んで、後の問いに答えなさい」という

前書きで出題されたのが、「おうちってなに?」「おなまえかいて」の2編。2024年5月号「現代詩手帳」の特集「パレスチナの詩アンソロジー・抵抗の声を聴く」に収録されている。

前者は「おうちっていうのは……それは通学路に立つ木立がつくる日陰^{かげ}。根っこから木を抜かれる前のこ

と。……それはかまど、おかあさんがパンを焼き鶏肉^{とりばく}を焼いていたんだ。爆弾が家をはれきにする前のこと。それはカフェ、サッカーの試合を見たり遊ん——息子が止める。たった三文字の言葉ひとつでいままったことぜんぶ受け止められるの?」という詩。

後者は「ガザでは、自分や子どもが殺されて身元がわかるよう、子の名前をその足に書くことにした親もいる——二〇二三年十月二十二日CNN報道」という説明付きで、

「あしに おなまえかいて、ママ……あたしはばんごうになりたくない あたし かずじゃない おなまえがあるの……からだじゅう ほねがくだけでも あたしたちのこと あしがしょうげんしてくれる かげばなんて どこにもなかったって」という内容。設問は、「『あたしか

イラン戦争——

獅子の咆哮作戦

齋藤真言

咆哮する獅子

2月28日、安息日の朝。夜明けまで何事も起きなかったことにわずかな安堵を覚えつつ、いつもよりやや遅く起床した。その直後の午前8時13分、スマートフォンから発せられたけたたましいアラート音が、安息日の静寂を一変させた。耳に突き刺さるアラート音——いつもとは違うこの音には聞き覚えがあった。昨年6月13日未明、イスラエル空軍によ

るイラン核関連施設への攻撃開始を知らせた際と同種のものであった。

画面には「非常に重大な警報」と表示され、イスラエル国防軍（IDF）ホームフロント司令部の指示に従い、速やかに安全な場所に留まるよう指示されていた。何が起きたのかおおよその見当はついていた。

テレビでは、IDF報道官が国民に向けて声明を発表した。

「今朝、IDFは米軍と共に『獅子の咆哮作戦』を開始した。これはそ

の規模や激しさにおいて、前例のない統合的かつ広範な軍事作戦である。本作戦の目的はイランの体制がもたらす脅威に重大な打撃を与え、イスラエル国家に対する存在の脅威を排除することにある。……イスラエル市民に危害を加えようとする者に免責は存在しない。それがテヘランの中心であろうと、世界のいかなる場所であろうと同様である」

今回の作戦は「獅子の咆哮」と名付けられた。昨年6月の対イラン作戦は「民は雌獅子のように」（民数記23・24）だった。獅子（ライオン）はユダヤ民族の象徴である。今回の作戦について、ネタニヤフ首相は「獅子が咆哮した、誰が恐れずにいられよう」（アモス書3・8）とビデオメッセージで聖書の一句を引用した。加えて本作戦がユダヤ暦のアドル月11日に開始された点も注目に値す

ニードセオリーとシードセオリー

田中猪夫

偶然の重なり

最初のイスラエル・ハイテク視察ツアーに参加した時、ネゲブ砂漠のホテルで、ツアーガイドの池田眞氏（現・日本イスラエル親善協会副会長）が、かつて日本に滞在していたイスラエル人が横浜で交通事故に遭い、亡くなったことを話していた。その人物はITエンジニアであり、日本企業の仕事を受注していたという。イス

ラエル人が日本で亡くなった場合、遺体をイスラエルへ空輸するための手続きは非常に煩雑で、困難を極めたということだった。

さらに、その人には、ヘブライ大出身のエリという弟がいた。彼はエルサレムにオフィスを構え、兄が日本で受注していた仕事を請け負うソフトウエア開発チームを率いていた。しかし兄の死とともに日本での仕事は途絶え、チームは困窮してい

るという話だった。

イスラエルで最初に契約が成立した時、私はその話を思い出した。日本向けの仕事を開発していたチームであれば、契約した「スケジューラー」の日本語化を依頼できるのではないかと考えたのである。その後、エリが来日した際に実際に会い、日本語化の仕事を依頼できないか打診したところ、すでに彼らのチームは、別のイスラエル企業の製品を日

イラン現政権との戦い

光永光翼

2月28日に始まったイラン戦争では、イランがホルムズ海峡を事実上閉鎖するなど、世界経済にも大きな影響を与えている。今後のイラン情勢はどうなるのか、イスラエルの中東専門家であるモルデハイ・ケダル博士（中東研究者、パル・イラン大学講師、情報機関の元中佐）エリヤフ・ヨシアン氏（イランのイスファハン出身、情報機関「8200部隊」元司令官）の意見を引用しつつ、探ってみたいと思う。

盤石な支配構造

イスラエルやアメリカは、イランのイスラム体制の崩壊を目標に攻撃を開始した。初代最高指導者ホメイニの後、37年にわたって国の最高指導者として君臨してきた2代目ハメネイが、今回の空爆で殺された。革命以降のイランで最大の出来事と言えるだろう。中東で同様の出来事を振り返ってみれば、2003年にイラクの

フセイン政権が倒れ、2010年に始まった「アラブの春」ではチュニア、エジプト、リビアなどに波及し、2024年にシリアのアサド政権が崩壊したことなどが挙げられる。中東諸国では独裁者や軍事政権の支配体制が多く、トップが倒れると政権も転覆して国のあり方まで変わってしまうことが多い。しかしイランは異質で、指導層が殺害されても体制がすぐに根底から覆ることはないと思

つらゆき、

エルサレムへ行く

池田 裕

●野球好きの歌人

歌人正岡子規は、夏目漱石と同じ1867年の生まれで、学んだ高校、大学も同じ、両者の友情は子規が34歳の若さで亡くなるまで続いた。子規は大の野球好きで、バッターⅡ打者、ランナーⅡ走者、フォアボールⅡ四球、ストリートⅡ直球、フライⅡ飛球などの野球用語の訳にも貢献した。いくつかの「ベースボールの歌」も残している。

たとえば、「あめ」(天)にかかる枕詞「久方ひさかたの」を、アメリカ人にかけて詠んだ歌――

久方のアメリカ人びとのはじめにし

ベースボールは見れど飽かぬかも

あるいは、

国人くにびとととつ国人くにびとと打ちきそふ

ベースボールを見ればゆゝしも

(日本人と外国人が野球で競い合う光景は実に素晴らしい)

子規が、現在の日米間の野球を通じての盛んな交流の様子、なかでも大谷翔平選手をはじめとする日本人選手

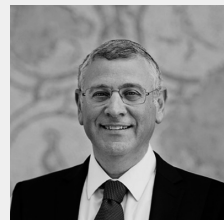
サムエル記講話

《サムエル記下 10章》

将軍ヨアブの登場

ベニー・ラウ

(毛利みつる 訳)



הרב בני לאו

●アンモンへの弔問団

本章は再び、ダビデの東方における戦争へと舞台が移りますが、今回はアンモン人との大規模な戦争に焦点が当てられています。そしてこの章は、次の章で起こるダビデ自身の大きな墮落へと繋がっていく章でもあります。

戦争に終始する本章は、ある人物に捧げられた章とも言えるでしょう。その人物とは、偉大な将軍であり、非常に多面的かつ魅力的な人物であるツェルヤの子ヨアブです。順

を追って見ていきましょう。

第8章ではすでに北方のアラム・ツォバおよびアラム・ダマスコとの戦争を終え、南方のエドムとの戦いも終えていました。その途中に「アンモン」と呼ばれる飛び地が存在します。ダビデは、アンモン人とは戦っていませんでした。

第10章は、ある種の「事故」とも言える出来事から始まります。

その後、アンモン人たちの王が死んだ。そして息子ハヌンが彼の代わりに王となった。ダビデは言った。

「私はナハシユの息子ハヌンに慈しみ

を行なう。彼の父が私に慈しみを行なったように」。そしてダビデは、彼を慰めるためにその家臣たちを彼の父のところに遣わした。(1~2節)

アンモン人の王ナハシユが死んだとき、ダビデはその子ハヌンのもとへ弔問の使節を送りました。ここが非常に奇妙な点です。アンモンの王ナハシユはサムエル記上11章で、ヤベシユ・ギルアドの人々を辱め、考え得る限り最大の屈辱を与えようとした人物でした。

彼は当初、彼らに恥辱を与えるた

使徒言行録の著者ルカ(中)

——「わたしたち章句」の意味するもの

藤原豊樹

○ 1人称複数の記述

使徒言行録の中で最も多く登場する都市はエルサレムです。ギリシア語の原文で59回言及されており、次いでシリアのアンティオキアが18回です。これは使徒言行録の著者ルカの出身地がアンティオキアであったことと関係があると思われまふ。以下の聖句を見てください。(聖書は新共同訳、傍点筆者)

そのころ、預言する人々がエルサレムからアンティオキアに下つて来た。その中の一人のアガボと、いう者が立って、大飢饉が世界中に起こると「靈」によって予告したが、果たしてそれはクラウデイウス帝の時に起こつた。そこで、弟子たちはそれぞれの力に応じて、ユダヤに住む兄弟たちに援助の品を送ることに決めた。そして、それを実行し、バルナバとサ

ウロに託して長老たちに届けた。

(使徒11・27、30)

「その中の一人のアガボという者が立って」は、「ベザ写本」と呼ばれる有力な写本によると、「わたしたちが集まっていると、その中の一人のアガボという者が……」となっています。「預言する人々が」が前節の主語で、続く「一人のアガボという者が」の前に、主語として「わたしたちが」を含む句が挿入されています(新約聖書には著者自筆の原本はなく、すべて書き写された写本によって伝えられていて、その代表的な写本の一つがベザ写本です)。

使徒言行録において、主語はほとんど3人称で綴られています。急に1人称複数の「わたしたち」を主語として始まる章や句が

ちよつと 得する聖書のお話

プリム祭のメッセージ

谷内意咲

前回、半シエケルの神殿税を納めるために、イエスがペテロに「湖に行つて釣り針を垂れなさい。そして最初に釣れた魚を取つて口を開けると、銀貨が見つかる。それを取つて、

私とあなたの分として納めなさい」(マタイ17・27)と命じられた箇所について解説しました。それはちょうどプリム祭の頃だったと思われ(前号参照)。

新約聖書にプリムの記述はありませんが、イエスの生きた第二神殿時代にプリムはすでに祝われていたとされています。「その後、ユダヤ人

の祭りがあったので、イエスはエルサレムに上られた」(ヨハネ5・1)と書かれているのがプリム祭ではないかという説があります。

プリム祭は、今もユダヤ人の祭日として祝われています。今年は3月3〜4日でした。思い思いのコスチュームに仮装するという明るく楽しいお祭りです。プリムに仮装する風習は14世紀頃、西ヨーロッパのキリスト教文化の影響を受けて始まったと言われます。確かに、子供から大人まで仮装して練り歩くその雰囲気は、キリスト教のカーニバル(謝肉祭)

やハロウィンを彷彿とさせます。

仮装に決まりはありませんが、その年々の流行があるようです。今年のトレンドは1970年代のノスタ



○ ギャラリー「イスラエルの風」が贈る今月の一枚 ○



朝霧に包まれるシオンの丘 撮影・平岡真一郎

ここはエルサレム旧市街を西から眺望できる最高の場所。
この日は朝から霧がエルサレムを覆っており、ふわっとした朝日の下に佇むシオンの丘がとても美しかった。

● 手漉き和紙にプリントした、絵画のような独特な風合いをもつ作品です ●

サイズ

31×40.5 cm 36,000円

制作元：ギャラリー「イスラエルの風」
〒183-0042 東京都府中市武蔵台 2-18-24

お問合せは
ミルトスへ

シリーズ最新巻

ヘブライ語聖書対訳シリーズ36

ヨブ記 I

1〜21章

ミルトス・ヘブライ文化研究所 編

A5判・並製160頁 本体3000円(+税)

ヘブライ語聖書対訳シリーズ 36

ヨブ記 I

1〜21章

ミルトス・ヘブライ文化研究所編



旧約聖書をヘブライ語原文から日本語に逐語訳する画期的シリーズの最新巻。どんな名訳でも伝わりにくい原典の微妙なニュアンスに触れることができる。

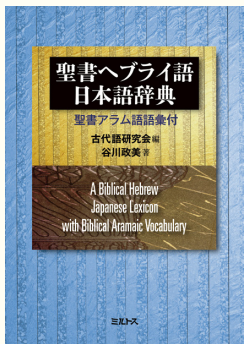
ヘブライ語で聖書を読むための辞典・入門書

聖書ヘブライ語
日本語辞典

聖書アラム語
語彙付き

谷川政美 著

A5判・並製1264頁
12,000円(+税)



リモート講座
始めます!

→本誌73頁を
参照ください

今日から読める
ヘブライ語

谷内意咲 著

A5判・並製144頁
1,700円(+税)